

特別会計・企業会計 他

特別会計

特別会計には次の表のとおり
たくさん
も私たちの生活に深く関わり
あるものです。なかでも国民健
康保険・介護保険・公共下水道
などの各特別会計の割合が高く

■平成 20 年度特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険（事業勘定）	21 億 3,703 万 4 千円	20 億 7,076 万 3 千円	6,627 万 1 千円
国民健康保険（直診勘定）	8,728 万 2 千円	7,790 万 4 千円	937 万 8 千円
老人保健	153 万 5 千円	153 万 5 千円	0 円
介護保険	17 億 8,120 万 8 千円	17 億 2,832 万 7 千円	5,288 万 1 千円
介護サービス事業	1,260 万 1 千円	410 万 5 千円	849 万 6 千円
訪問看護ステーション西八代	2,487 万円	2,349 万円	138 万円
簡易水道	2 億 2,167 万 5 千円	2 億 1,030 万 1 千円	1,137 万 4 千円
公共下水道事業	9 億 2,351 万円	8 億 8,692 万 9 千円	3,658 万円
農業集落排水事業	3,510 万 7 千円	3,456 万 9 千円	53 万 9 千円
戸別浄化槽整備推進事業	663 万 2 千円	524 万 4 千円	138 万 8 千円
温泉事業	4,887 万 7 千円	4,881 万 9 千円	5 万 9 千円
恩賜県有財産保護管理事業	233 万 3 千円	10 万 5 千円	222 万 8 千円
市川財産区	150 万 5 千円	1 万 6 千円	149 万円
高田財産区	83 万 8 千円	1 万 8 千円	82 万円
大同財産区	330 万円	2 万 3 千円	327 万 7 千円
歌舞伎文化公園管理	3,073 万 2 千円	2,928 万円	145 万 2 千円
後期高齢者医療	1 億 9,359 万 9 千円	1 億 8,967 万 3 千円	392 万 6 千円

福祉や生活環境に配慮した事業
の推進が見てとれます。

公営企業会計

公営企業会計とは、民間企業
と同じように事業で収益をあげ
て、その収益により運営を行っ
ている会計です。本町では上水

道事業と病院事業が
あります。
収入に対する支出
の不足額は、積立金
などで補ってんしてい
ます。

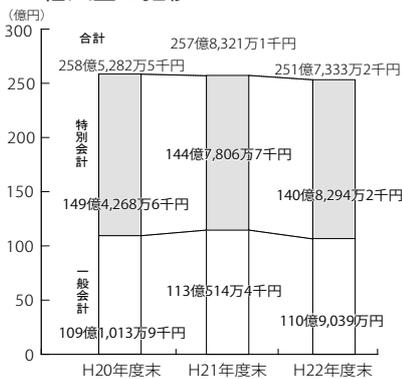
■公営企業会計

〈上水道事業〉	事業収益（収入）	事業費用（支出）
収益的収入及び支出	1 億 3,940 万 1 千円	1 億 6,261 万 3 千円
資本的収入及び支出	1,999 万 1 千円	9,584 万 8 千円
〈病院事業〉	事業収益（収入）	事業費用（支出）
収益的収入及び支出	19 億 5,373 万 5 千円	19 億 7,051 万 7 千円
資本的収入及び支出	1 億 1,827 万 1 千円	2 億 296 万 7 千円

町の借金

町全体の借入金の総額は
251億7,333万2千
円、内訳は一般会計分
110億9,039万円、特別会
計分140億8,294万2千円
になります。町民1人あたりに
換算すると、町全体で141万
円になります。なお平成21年
度と比較した場合、町全体で
6億987万9千円削減されま
した。今後も引き続き公債費の
発行額の抑制、繰り上げ償還な
どを実施していきます。

■借入金の推移



財政健全化の指標

自治体の財政破たんを未然に
防ぐために国で定めた財政指標
があります。これは自治体の財

■財政健全化比率

項目	(単位：%)			
	22 年度	21 年度	早期健全化基準	財政健全化基準
実質赤字比率	-12.91	-9.24	14.36	20.00
実質連結赤字比率	-17.04	-12.61	19.36	35.00
実質公債費比率	12.9	15.1	25.00	35.00
将来負担比率	104.5	124.8	350.0	—

※実質赤字比率と連結赤字比率は黒字のためマイナス表示

政状況を明らかにするもので、指
標が基準を上回った自治体には、
財政の健全化に向けた計画の策
定など、さまざまな制約が課せら
れます。
平成22年度の決算に基づく算
定の結果、本町ではいずれの指
標も早期健全化基準を下回る数
値となり、前年度よりも数値が
下回りました。今後も健全な行
財政運営を行っていきます。

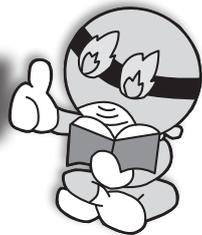
図書館 Information

インフォメーション

信じよう、本の力

10/27 ~ 11/ 9

2011年(第65回)「読書週間」



皆さんは図書館を利用したことがありますか？
また、図書館のことをどのくらい知っていますか？
図書館は、本を借りるだけではありません。
たくさんの情報があり、いろいろな世界へと誘ってくれる楽しい場所です。

10月27日から11月9日は読書週間です。読書週間は、まだ戦火の傷痕がいたるところで残っ

ていた昭和22年。「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」の決意のもとに始まって以来60年以上にわたり続けられてきました。

ぜひこの機会に、図書館に親しんでみて下さい。そして本の力を信じてみて下さい。

今回は図書館の活用の方法をご紹介します。



蔵書検索システム
3館いずれの図書館でも、タッチパネルの蔵書検索システムで自由に図書の検索ができます。



蔵書検索システム

借りた本はどこでも返却
借りた図書は、どこの図書館へ返却してもかまいません。ただし視聴覚資料は、本館へ返却して下さい。



借りた本はどこでも返却

借りたい本の予約ができる
どこでも、どの図書館でも予約ができます。お探しの本が、町内の図書館に所蔵していない場合、県内の図書館や国会図書館などの県外の図書館からも借り受け提供します。



借りたい本の予約ができる

3館どこでも使える図書館利用カード
本館・三珠分館・六郷分館、どこでも使える共通の図書館利用カードです。旧カードをお持ちの方は、お早めに図書館で交換して下さい。



3館どこでも使える図書館利用カード

知識を広げる多彩なイベント

図書館 歴史ウォーキング

～美しい景観、地域の歴史や文化に触れて～

【日時】10/10(月・祝) 午前9時30分～正午

【集合場所】町役場六郷庁舎駐車場

【テーマ】六郷地区を訪ねて

※定員20名になり次第締め切り

※申し込みが必要です。《町立図書館 本館 ☎ 055-272-8888 まで電話にてお申し込み下さい》



図書館 朗読サロン

～根津ピアノの音色とともに～

【日時】10月22日(土) 午後7時～8時30分

【場所】市川大門町民会館2階ロビー

【内容】『万引き』(井上ひさし)

/ 『クチビル』(佐野洋子) 『警視

総監賞』(向田邦子) ほか

※今年も、金子みすずの作品を根津ピアノと共にお届けします。



まだまだあるぞ！図書館の便利なサービス

※郷土資料コーナー

町の地場産業である和紙、書、印章などの資料や、市川團十郎発祥の地である歌舞伎の資料などを取りそろえてあります。

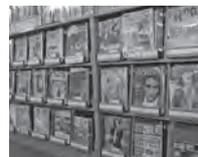


※行政資料コーナー

町で作成した冊子などを展示しています。



※雑誌コーナー 3館で約90種類の雑誌が置いてあります。今年度から『野菜だより』『うかたま』『ベースボールマガジン』を新たに揃えました。



※レファレンスサービス 図書館の資料を調べ、身近な疑問などにお答えするサービスです。資料が見つからない、調べ方がわからない時など、お気軽にご相談下さい。

※コピーサービス 著作権の範囲内で、図書館所蔵の資料に限り1枚20円でコピーをすることができます。



蔵書点検のため休館します（各分館）

三珠分館・六郷分館では、蔵書点検のため次の期間休館させていただきます。

【三珠分館】10月3日(月)～5日(水)

【六郷分館】10月6日(木)・7日(金)

（児童向き） はやく読みたい！ 今月の **新着**

『長友佑都』（スポーツ伝説研究会 / 汐文社）
『ぞうさんのおとしあな』（高島純 / ポプラ社）
『パンダもの知り大図鑑』（倉持浩 / 誠文堂新光社）
『15歳の志願兵 ジュニア版』（大森寿美男 / 汐文社）
『クマのあたりまえ』（魚住直子 / ポプラ社） ほか

（一般向き）

『水底フェスタ』（辻村深月 / 文藝春秋）
『峠うどん物語（上）』（重松清 / 講談社）
『神君家康の密書』（加藤廣 / 新潮社）
『まともな家の子供はいない』（津村記久子 / 筑摩書房）
『死を語り生を思う』（五木寛之 / 角川書店） ほか

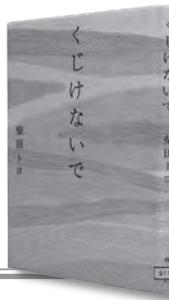
今月のおはなし会 気軽におこし下さい！

- 本館— [乳幼児] 10/27(木) 11:00～11:30
- 三珠分館— [幼児～小学] 毎週(火) 16:30～17:00
[乳幼児] 10/25(火) 11:15～11:45
- 六郷分館— [幼児～小学] 10/18(火) 15:30～16:00

『くじけないで』 （柴田トヨ / 飛鳥新社）

わたしの **一冊**

作者の柴田トヨさんは、90歳をすぎてから詩を書き始めました。苦勞したからこそ生まれてくる、やさしくあたたかな言葉の数々。これを読むと、大切な人たちに会いたくなります。(M.K / 女性 70代)



図書館行事を華やかに演出する 「図書館ボランティア」

「トトロ」が「平成23年度子どもの読書活動優秀実践団体」として表彰

図書館では、読み聞かせや各種イベントでの出し物を提供する、図書館ボランティアグループが活躍しています。

本館での活動を中心とする「トトロ」、その「トトロ」の子どもたちが中心となって結成した「まっくろくろすけ」。三珠分館を中心に活動する「耳をすませば」。六郷分館を活動拠点とする「つくしの会」が活動しています。

その中で、長年の地道な活動が実を結び「子どもの読書活動優秀実践団体」として、今年度「トトロ」が文部科学大臣より表彰されることになりました。



読み聞かせをするトトロのメンバー

【各図書館の開館時間と連絡先】

- 本館 9:00～17:00 (木曜日は19:00まで) ☎055-272-8888
- 三珠分館 9:00～17:00 ☎055-272-1204
- 六郷分館 [平日] 正午～19:00 [土・日] 9:00～17:00
☎0556-32-2002

【休館日】全館とも毎週月曜・祝日・年末年始
※本館のみ月の最後の平日

展示コーナー（本館）

「写真展 ～澄んだ囁きが美しく～」一瀬和一氏（市川大門） 期間：10/4(火)～11/29(火)

秋の風は急ぎ足で里山を訪れ、落葉の季節を迎える頃、小鳥たちが遠く海を渡って帰ってきます。風に揺れる赤く熟れた木の実、染め上げられた落葉の1枚1枚の色合。山路には色鮮やかなきのこたち、雑木林は飽きることのない魅力的で、自然が一杯です。



新着図書

■一般向け

『地下鉄で行く江戸
・東京ぶらり歴史散歩』
(東京歴史研究会 / かんき出版)



「五色不動」「六地藏尊」「八所八幡宮」「東京十社」など江戸時代を語る歴史遺産のほとんどは、23区内に息づく東京メトロと都営地下鉄で回ってしまう。世界一の都市づくりの全貌から暮らしぶりまで260年のドラマを、切符片手に見て、歩いて楽しむための歴史読本。

■児童向け

『わたしはあかねこ』
(サトシン・作
西村敏雄・絵 / 文溪堂)



家族はみんな、白、黒、ぶちなどネコらしい色や模様なのに、1匹だけ赤い色をしたあかねこ。自分では赤い色が好きなのに皆は同情するばかり。自分を認めてもらえないあかねこは、ある日家を出ることに…。切なくも前向きな気持ちになれる感動の一冊です。

地域の文化に親しもう

【問い合わせ】町教育委員会学術文化係
☎ 055-272-6094

市川三郷町では合併前から三珠、市川、六郷それぞれに文化協会が設立され、自主的な活動のもと文化活動の振興を図っています。その成果は各地区の文化展などで発表されてきました。また三珠、市川の文化協会ではそれぞれ文芸誌を発行し

多くの人に親しまれています。地域の歴史、民俗などを調査、研究する峡南郷土研究会も長い活動期間の中で大きな成果を修めています。

今年度も新刊が発行されました。この機会に地域の文化活動に親しんでみてはいかがでしょうか？

教育委員会、文化協会などで発行したそのほかの郷土資料集

■市川大門町の石造物

(市川大門町教育委員会 / 1995年発行) 1,000円

■市川大門町所蔵文書目録

(市川大門町教育委員会 / 1995年発行) 1,000円

■秋山家所蔵 [勤役中日記]

(市川大門町教育委員会 / 1996年発行) 1,000円

■市川大門町誌稿本・高田村誌

(市川大門町教育委員会 / 1997年発行) 1,000円

■市川大門町所蔵和紙関係古文書

(市川大門町教育委員会 / 1998年発行) 1,000円

■市川大門町諸家所蔵御用紙関係文書

(市川大門町教育委員会 / 1999年発行) 1,000円

■市川大門町所蔵村治関係古文書

(市川大門町教育委員会 / 2001年発行) 1,000円

■市川大門町所蔵 法・貯穀・陣屋と郷宿 関係古文書

(市川大門町教育委員会 / 2002年発行) 1,000円

『蛾眉』第40号

市川大門地区文化協会 / 600円



『蛾眉』は昭和45年に伝統文化の継承、文化活動の振興を目的として設立された、市川大門町文化協会の文化部文芸誌として昭和46年6月に創刊されました。平成17年に三郷町が合併した後は、市川三郷町市川地区文化協会の文芸誌として引き継がれています。

地域の方々によるエッセー、小説、詩、短歌、俳句、川柳など幅広い分野の作品が数多く掲載され、カラーの表紙、グラビアページで会員の作品や活動の様子などが紹介されているのも特徴です。

『曾根峯』第46号

三珠地区文化協会 / 500円



三珠町文化協会は昭和47年に設立され、翌昭和48年10月に会誌第1集『山峡』を発行しました。翌昭和49年5月には、名前を『曾根峯』に変え、会誌第2集を発行しました。

以後『曾根峯』の名前で毎年発行され、三郷合併後も市川三郷町三珠地区文化協会の会誌として引き継がれ、エッセー、短歌、俳句、川柳など地域の方々の方々の文芸作品発表の場として親しまれています。

表紙の絵は、創刊当時文化協会顧問であった画家、故土屋義朗氏が描いたものです。

『峡南の郷土』第51集

峡南郷土研究会 / 500円 (近日発行)



『峡南の郷土』は昭和42年6月に研究発表の場として創刊されたものです。

会員を中心に『峡南の郷土』に投稿された論文、報告などは考古、古文書、宗教、芸能、伝説、産業、交通、地名、方言、姓氏、人物、自然など幅広い分野に及び、峡南地区の埋もれた歴史、民俗を掘り起こした貴重な記録も少なくありません。

ほんのひとこと
町立図書館です

町立図書館でも『蛾眉』『曾根峯』『峡南の郷土』のバックナンバーが閲覧できます



市川三郷町らしい景観を
守り、創り、育てる

「市川三郷町景観計画」を 策定します

平成23～25年度検討
平成26年度策定予定

町の優れた自然景観、歴史文化的景観、まちなみや集落景観を住民共有のかけがえのない財産として守り育て、新たな魅力ある景観を創造し、次世代に継承していくため、「市川三郷町景観計画」の策定に着手します

市川三郷町は、御坂山地の山なみ、芦川渓谷や四尾連湖などの水辺、のどかな里山と農村、甲府盆地を望む優れた眺望など美しい風景に恵まれています。また、社寺や史跡などの歴史文化的景観、趣きのある建造物、水路、「ひや」

などに代表される往時の面影を残す街並みなど、特色ある景観が数多くみられます。

町ではそうした景観を守り育て次世代に継承していくため、「市川三郷町景観計画」の策定に着手しました。今年度から3カ年で景

観計画の検討を行い、平成26年度の策定を目指しています。

■計画策定の手順と方法

景観は、近くから遠くまでの眺めが重なり合って構成されるため、私有地、公共用地などの区別はありません。良い景観をつくるためには、住民、行政それぞれの取り組みが不可欠です。

そのため、景観計画の策定では住民による検討組織を設置し、住民からの意見、提案を基に調整や協議を重ねていくという手法を進めていきます。その後、原案を公開して広く意見を募集し、その結果を踏まえ、最終的な計画を定めます。

■風景づくり住民懇談会

景観計画に住民の意見や提案を反映するため、住民の立場で景観づくりについて話し合い、景観の将来像や景観づくりの方向などをまとめていく住民検討組織として、「風景づくり住民懇談会」を設置します。「風景づくり住民懇談会」は、下記の要領でメンバーを募り、話し合いはメンバーが公平な立場で協働作業を行うワークショップという手法で進めていきます。

「風景づくり住民懇談会」 メンバー募集

風景づくり住民懇談会メンバーは、地域や各種団体の代表にお願いするほか、風景づくりに関心のある住民の皆様を募集します。

■対象

18歳以上の町内在住者

■募集人数

30名程度（応募者多数の場合は、選考させていただく場合があります）

■開催回数

平成23年12月から平成24年8月頃までの期間で、平日の午後7時から2時間程度、合計5回程度を予定

■申し込み期限

10月31日(月)

■申し込み方法

電話またはファックスにて、名前、年齢、住所、電話番号をご連絡下さい。

■問い合わせ

町建設課都市計画係

☎ 055(272)6090

FAX 055(272)5601



▲芦川渓谷



▲富士川と六郷の町並み



▲柿の木の辻